

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに人材育成その他の教育研究上の目的を設定していますか。また、その内容は適切ですか。	A
		(2)	大学の理念・目的と学部・研究科の目的に関連性がありますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 薬学研究科では、「人材の養成・教育研究上の目的」を設定している。また、その内容は研究科の3つのポリシーとの関連性を重視しており、適切であることを2019年度・第9回薬学研究科委員会にて点検・確認している。				
(2) 2019年度・第9回薬学研究科委員会において、薬学研究科の「人材の養成・教育研究上の目的」が、大学の教育理念・目的と関連していること、かつ3つのポリシーの基盤となっていることを点検し、適正であると評価した。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
「人材の養成と教育研究上の目的」(2019年度大学院要項p59)				
薬学研究科ポリシー(2019年度大学院要項p79)				
2019年度第9回研究科委員会議事録(研究科委員会:資料9-1)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的を適切に明示していますか。	A
		(2)	教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等により、大学の理念・目的、学部・研究科の目的等が周知及び公表されていますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 薬学研究科の人材の養成と教育研究上の目的は、「愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程」に明示されている。				
(2) 薬学研究科の目的について、大学院要項並びに薬学研究科ホームページで教職員、学生、社会に向けて周知・公表されている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
「人材の養成と教育研究上の目的」(2019年度大学院要項p59)				
「人材の養成と教育研究上の目的」ウェブサイト 【ウェブ】 http://www.phar.agu.ac.jp/graduate_school/academics_college/mission/				
「愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程」				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既にも実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準1」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	方針及び手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。	(1)	学部・研究科その他の組織における定期的な点検・評価及び点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを計画的に実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 授業アンケートを実施して、薬学研究科の定期的な点検・評価に供するとともに、2020年度からの薬学研究科教員活動業績評価の実施に向けて教員の活動業績評価の指針を研究科運営委員会・研究科自己点検対策委員会(合同)において策定・検討の結果、2019年度は試験運用を行い、改善・向上に取り組んでいる。また、愛知学院大学自己点検・自己評価規程が整備され、全学自己点検・自己評価委員会内で薬学研究科との情報共有が行われている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
「薬学研究科博士課程授業アンケート」				
「教員の活動業績評価の指針」				
2019年度第1回研究科運営委員会・研究科自己点検対策委員会議事録				
2019年度第3回・第5回・第9回薬学研究科委員会議事録(教員活動業績評価)				

2. 長所・特色

<p>有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにし、たうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。</p>	
点検・評価項目番号	長所・特色
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

<p>理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。</p>	
点検・評価項目番号	課題・問題点
2-③	内部質保証のためのPDCAサイクルを機能させるための教員活動業績評価の実際の運用。

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既の実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
2-③	2020年度より教員活動業績評価の実施と評価結果に基づいた改善・向上をはじめの予定である。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準2」全体の自己評価

	自己評価
基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	(1)	課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針を適切に設定し公表していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 「博士(薬学)」の学位にふさわしい薬学研究科のディプロマ・ポリシー(平成30年度第2回薬学研究科委員会にて改訂)が設定されるとともに、課程修了の要件として修得すべき単位数とともに博士課程修了要件を大学院要項ならびに大学院ホームページに記載している。</p> <p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p> <p style="text-align: center;">根拠資料名</p> <p>薬学研究科DP、CP、AP(大学院要項p79) 2019年度第9回薬学研究科委員会議事録(研究科ポリシー) 薬学研究科ディプロマポリシー【ウェブ】http://www.phar.agu.ac.jp/graduate_school/academics_college/mission/</p>				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1)	下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定及び公表をしていますか。 ・教育課程の体系、教育内容 ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等	A
		(2)	教育課程の編成・実施方針と学位授与方針には適切な連関性がありますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 薬学研究科では、教育課程を構成する授業科目とその教育内容及び体系性を備えたカリキュラムポリシーが設定されており、学位授与方針を達成するための適切な教育課程になっている。教育課程の編成やその実施方針は、大学院要項並びに大学ホームページ、薬学研究科ホームページに記載している。</p> <p>(2) DPとCPは密接な連関性があることを研究科委員会で点検・評価し、適切であることが確認されている。</p> <p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p> <p style="text-align: center;">根拠資料名</p> <p>薬学研究科DP、CP、AP(大学院要項p79) 薬学研究科カリキュラムポリシー【ウェブ】http://www.phar.agu.ac.jp/graduate_school/academics_college/mission/ 人材の養成・教育研究上の目的とポリシー 薬学研究科 【ウェブ】http://www.phar.agu.ac.jp/graduate_school/academics_college/mission/ 愛知学院大学学則別表8 「薬学研究科シラバス」(平成31年度大学院要項p176) 「カリキュラム内容」ウェブサイト【ウェブ】http://www.phar.agu.ac.jp/graduate_school/class_curriculum/curriculum/ 2019年度第9回薬学研究科委員会議事録(研究科ポリシー)</p>				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2)	教育課程の編成にあたっての順次性及び体系性への配慮、授業科目の位置づけ(必修、選択等)は適切ですか。	A
		(3)	個々の授業科目の内容及び方法は、教育課程の編成・実施方針を踏まえていますか。	A
		(4)	各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 <学士課程> 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 <修士課程、博士課程> コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	A
		(5)	学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	B
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 薬学研究科は、教育課程の編成・実施方針に記載の通り、教育課程として専門科目(特論)、特別研究、特別演習を組み合わせ、授業科目を体系的に配置し、密度の高い教育を行っている。また、医療分子薬学分野と医療機能薬学分野の2つの分野において、より専門的な教育が実施されている。進歩の速い研究分野であることから2019年度から専門科目(特論)のカリキュラムを改編し教育を行なっている。</p> <p>(2) 薬学研究科の専門科目は8科目が設定され、4科目ずつ隔年開講となっている。分野は医療分子薬学分野4科目と医療機能薬学分野4科目でバランスの取れた配置となっている。また、科目は半期に各領域から1科目ずつ選択できる仕組みとなっている。一方、薬学研究科では専門性が高く、コースワークとリサーチワークとの関連から必須科目は配置していない。</p> <p>(3) 個々の授業科目はカリキュラムポリシーに従った内容で進められ、各教員は薬学研究科博士課程授業評価アンケートを基にカリキュラムポリシーならびにカリキュラムとの整合性を確認している。また、研究科委員会でシラバスのチェックが行われ整合性が確認されている。</p> <p>(4) リサーチワークは、研究指導教員の指導のもとで研究および演習を行い、学位論文を作成し、特別研究と特別演習の単位を取得できる。また、コースワークは、「医療分子薬学分野」と「医療機能薬学分野」の2分野を設け、特別研究に関連する領域を中心に基礎的かつ包括的知識の修得のために、専門科目8科目から5科目を柔軟に選択できる。</p> <p>(5) 研究活動全般を通して社会的及び職業的自立に必要な能力の養成に努めているが、適切性の検証までは実施していない。</p>				
<p>【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
「薬学研究科シラバス」(2019年度大学院要項p176)				
「カリキュラム内容」ウェブサイト【ウェブ】 http://www.phar.agu.ac.jp/graduate_school/class_curriculum/curriculum/				
薬学研究科博士課程授業評価アンケート				
2019年度第9回・第11回・第12回薬学研究科委員会議事録(シラバス)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1)	単位の実質化を図るための措置(授業時間外に必要な学習の促進、学士課程においては履修登録単位数の上限設定等)を講じていますか。	A
		(2)	シラバスの内容(授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示)は適切ですか。授業内容とシラバスとの整合性が確保されていますか。	A
		(3)	学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法などの措置を講じていますか。	A
		(4)	各学位課程に応じてその他の措置を講じていますか。 <学士課程> ・授業形態に配慮した1授業あたりの学生数、適切な履修指導の実施 <修士課程、博士課程> ・研究指導計画(研究指導の内容及び方法、年間スケジュール)の明示とそれに基づく研究指導の実施	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 半期で履修できる専門科目数は2科目であり、全8科目を4科目ずつの隔年開講とすることで研究活動への時間を十分に確保している。社会人大学院生への配慮として専門科目開講時間を18時からとしている。15回の授業回数を確保するため、教務日程(学年暦)を厳格に定めている。年度初めには学習指導計画に基づき履修オリエンテーションを実施している。</p> <p>(2) 研究科教員はシラバスに従い講義を実施するとともに、シラバス作成時に毎回、授業内容、方法とシラバスの整合性を点検している。また、学生に対する授業アンケートを実施し、シラバスとの整合性を含めた授業内容の点検と確認作業を行なっている。</p> <p>(3) 専門科目の特論(講義)では、少人数での双方向の授業がなされている。また、特別研究では、学生が主体的に研究に取り組むのはもちろんのこと、セミナーでの発表や質疑応答を通じて、研究を自立して遂行できる能力の育成がなされている。また、学生の主体的な研究活動を促すために日本薬学会東海支部特別講演会や薬学セミナーが開催されている。</p> <p>(4) 薬学研究科の研究指導計画を大学院要項に明示し、研究指導計画に基づき指導を行い、研究指導教員には研究指導計画書、学生には研究計画書の提出を義務付けている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
「研究科シラバス」(2019年度大学院要項p176)				
薬学研究科博士課程授業評価アンケート				
「2019年度薬学研究科時間割」(平成30年度第7回研究科委員会資料7-4)				
「2019年度薬学研究科学年歴」(平成30年度第7回研究科委員会資料7-2)				
2019年度第9回・第11回・第12回薬学研究科委員会議事録(シラバス確認)				
「薬学研究科指導計画」(2019年度大学院要項p96)				
入学式・オリエンテーション案内・配付資料				
セミナー情報ウェブサイト【ウェブ】 http://www.phar.agu.ac.jp/news/				
「研究指導計画書」				
「研究計画書」				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)	単位制度の趣旨に基づく単位認定を行っていますか。また、既修得単位の適切な認定を行っていますか。	S
		(2)	成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置を講じていますか。	S
		(3)	卒業・修了要件を明示していますか。	S
		(4)	〈修士課程・博士課程〉 学位論文審査基準を明示していますか。	S
		(5)	学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するためにどのような措置を講じていますか。 学位授与に係る責任体制及び手続は明示されていますか。	S
		(6)	適切に学位授与を行っていますか。	S
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 大学院学則第6条に明示された単位制度に基づく単位認定を適切に行っている。</p> <p>(2) 単位認定については、研究科委員会で確認し、承認を得ている。また、学位論文の公開発表会を開催して、学位論文の質を担保している。学位審査は、本学学位規則と薬学研究科内規に従い厳格に行なわれている。提出された学位申請論文に対して、研究科委員会は、審査委員会を設置し、厳正に審査を行い、本研究科委員会に報告する。最終判定は研究科委員会全員の投票により行う。この後、大学院委員会で審議し、ここで承認されて初めて学位が認められることになる。さらに単位認定とは別に2019年度からは、総括的評価のルーブリック評価も導入している。</p> <p>(3) 修了要件並びに学位論文審査基準は薬学研究科ホームページ(学位審査体制・修了要件)に掲載して、周知している。</p> <p>(4) 薬学研究科では、「愛知学院大学大学院薬学研究科学位論文審査内規」と「薬学研究科の課程修了要件、最終試験及び学位論文審査等に関する事項」を制定し、質的な学位論文審査基準を明記している。</p> <p>(5) 学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するために、審査委員会を設置し、厳正に審査を行い、研究科委員会に報告する。最終判定は研究科委員会全員の投票により行う。審査報告書は、毎年まとめて学内学会誌である愛知学院大学薬学会誌ならびに愛知学院大学大学院ホームページに審査員名とともに公表しており、学位論文審査は公正かつ適切な体制の下で、実施されている。</p> <p>(6) 1～5に示したように厳格に学位授与を行なっている。</p> <p>【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
愛知学院大学院学則(大学院要項p2)				
「愛知学院大学大学院薬学研究科学位論文審査内規」				
「薬学研究科の課程修了要件、最終試験及び学位論文審査等に関する事項」				
2019年度学位論文発表会学内掲示				
学位審査体制・修了要件ウェブサイト 【ウェブ】 http://www.phar.agu.ac.jp/graduate_school/class_curriculum/judgment_and_completion/				
薬学研究科学位論文審査基準ウェブサイト 【ウェブ】 http://www.phar.agu.ac.jp/graduate_school/class_curriculum/judgment_and_completion/				
薬学研究科(甲) 博士学位授与者一覧ウェブサイト 【ウェブ】 https://www.agu.ac.jp/graduate/doctorate/pharmacy/				

愛知学院大学薬学会誌ウェブサイト
 【ウェブ】http://www.phar.agu.ac.jp/parmacetical_society/

2019年度第11回薬学研究科委員会議事録

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	各学位課程の分野の特性に応じて、学位授与方針に示した学習成果を測定するための多角的で適切な指標設定を行っていますか。	A
		(2)	学習成果を把握及び評価するために適切な測定方法を用いていますか。 ≪学習成果の測定方法例≫ ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

(1)
 「愛知学院大学大学院薬学研究科学位論文審査内規」、「薬学研究科の課程修了要件、最終試験及び学位論文審査等に関する事項」ならびに「薬学研究科学位論文審査基準」に到達目標が明示されている。学位授与方針に示した学習成果を測定するための多角的で適切な指標設定を行っている。また、2019年度に3つのポリシーと密接に関係するアセスメント・プランを策定するとともに、DPIに沿った形成的・総括的評価のためのルーブリックを作成した。

(2)
 薬学研究科では授業アンケートと学修状況アンケートを用いて学習成果の把握に努めている。また、特別研究では、年度ごとに研究計画書を提出し、前年度の進捗状況を把握及び評価するとともに、日常の研究活動での議論やセミナーでの質疑応答を通じて形成的評価も実施している。しかし、ルーブリックなどを利用した数値化までには至っていない。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

- 「愛知学院大学大学院薬学研究科学位論文審査内規」
- 「薬学研究科の課程修了要件、最終試験及び学位論文審査等に関する事項」
- 学位審査体制・修了要件ウェブサイト【ウェブ】http://www.phar.agu.ac.jp/graduate_school/class_curriculum/judgme
- 2019年度第10回薬学研究科委員会議事録(ルーブリック・アセスメント・プラン)
- 「薬学研究科アセスメント・プラン」
- 「薬学研究科ルーブリック」
- 「授業アンケート」
- 「学修状況アンケート」
- 「研究指導計画書」
- 「研究計画書」

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑦	教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	A
		(2)	点検・評価結果に基づき、改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	B
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 特別研究においては、研究計画書により、その進捗状況を年度ごとに点検・評価している。学習成果の測定のために2019年度に形成的評価と総括的評価のためのルーブリックを策定し、修了生に対しての総括的評価を行った。</p> <p>(2) 特別研究においては、研究計画書の内容に基づいて、研究指導教員が研究指導計画書を作成し、次年度以降の研究指導計画を立案している。教育課程及びその内容、方法の適切性について薬学研究科独自の自己点検に基づいた定期的な改善は行なわれていない。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
2019年度第10回薬学研究科委員会議事録(ルーブリック)				
「研究指導計画書」				
「研究計画書」				
「薬学研究科ルーブリック」				

2. 長所・特色

<p>有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。</p>	
点検・評価項目番号	長所・特色
4-⑤-(1~6)	各種規程に基づいて学位授与を公平かつ厳格に行なっているために学生・教員への周知が徹底され、円滑な学位審査が行なわれている。
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>	
根拠資料名	
愛知学院大学院学則(大学院要項p2)	
「愛知学院大学大学院薬学研究科学位論文審査内規」	
「薬学研究科の課程修了要件、最終試験及び学位論文審査等に関する事項」	
2019年度学位論文発表会学内掲示	
学位審査体制・修了要件ウェブサイト 【ウェブ】 http://www.phar.agu.ac.jp/graduate_school/class_curriculum/judgment_and_completion/	
薬学研究科学位論文審査基準ウェブサイト 【ウェブ】 http://www.phar.agu.ac.jp/graduate_school/class_curriculum/judgment_and_completion/	
薬学研究科(甲) 博士学位授与者一覧ウェブサイト 【ウェブ】 https://www.agu.ac.jp/graduate/doctorate/pharmacy/	
愛知学院大学薬学会誌ウェブサイト 【ウェブ】 http://www.phar.agu.ac.jp/parmaceutical_society/	
2019年度第11回薬学研究科委員会議事録	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
4-⑥-(2)	形成的評価のためのルーブリックを利用した数値化までには至っていない。
4-⑦-(2)	教育課程及びその内容、方法の適切性について薬学研究科独自の自己点検に基づいた定期的な改善は行なわれていない。

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既にも実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
4-⑥-(2)	2019年度に作成した形成的評価のためのルーブリックを2020年度より活用する。
4-⑦-(2)	全学の自己点検・自己評価委員会の方針に従い、研究科運営委員会・研究科自己点検対策委員会で定期的な教育課程の自己点検・改善について計画を立てる予定である。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名
「薬学研究科ルーブリック」

5. 「基準4」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	(1)	学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を適切に設定し、公表していますか。	A
		(2)	下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針を設定していますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 薬学研究科では人材の養成・教育研究上の目的を達成するためにディプロマポリシー・カリキュラムポリシーに従い学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を定めている。このアドミッションポリシーは、大学院要項および薬学研究科ホームページに掲載し、社会に公開している。</p> <p>(2) 求める学生像に基づいて、アドミッションポリシーは設定されている。また、判定方法は学生募集要項に明示されている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
「アドミッションポリシー」(2019年度大学院要項p79)				
「アドミッションポリシー」ウェブサイト【ウェブ】				
2019年度学生募集要項				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針に基づき学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定していますか。	A
		(2)	入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制を適切に整備していますか。	A
		(3)	公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(4)	入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 研究科委員会において、アドミッションポリシーに基づき年度毎に募集要項案および入学者選抜方法について審議し、設定している。</p> <p>(2) 薬学研究科委員会において合格基準の確認を行い、入学試験実施後に研究科委員会において判定を行い、最終的には大学院委員会で研究科委員会の判定内容を審議している。</p>				

(3)
 入学者選抜については、入試区分ごとの試験種目(薬学専攻科目試験、英語学力試験、小論文試験、面接試験)の結果を研究科委員会で総合して判定している、最終的に大学院委員会で研究科委員会の判定内容を審議している。受験科目は、全ての項目で客観的に点数化し、研究科委員会で十分な審議をした上で公正、公明な選抜を行っている

(4)
 筆記試験だけではなく、全ての受験生に対し、志望動機、研究の抱負、修了後の進路等について面接試験を行い、適切に判断している。傷病等により不自由を有する受験者から事前に申し出があった際には、その態様の確認を行い、適切かつ公平な対応にあたることとしている。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

2019年度第1回薬学研究科委員会議事録(入学試験概要資料1-1)

2019年度薬学研究科学生募集要項

薬学研究科博士課程入学試験実施要項

薬学研究科入学試験合格基準

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	入学定員及び収容定員を適切に設定し、在籍学生数を管理していますか。 <学士課程> ・入学定員に対する入学者数比率 ・編入学定員に対する編入学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応 <修士課程、博士課程、専門職学位課程> ・収容定員に対する在籍学生数比率	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

(1)
 入学定員及び収容定員は適切に設定されており、令和元年5月現在、収容定員に対する在籍学生数比率は38%である。また、在籍学生の異動は研究科委員会で報告され、在籍学生数は適正に管理されている。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

大学院入学志願者数等調(日本私立薬科大学協会)

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づき改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

(1)
 研究科委員会にて学生の受け入れの適切性(APの適切性、入学定員及び収容定員の適切性等)について点検・評価を行っている。

(2)
 定員充足のために本学主催の大学院進学相談会や薬学部主催の大学院説明会を通して広報活動を展開している。

〔根拠資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

2019年度第9回薬学研究科委員会議事録(AP)

2019年度第12回薬学研究科委員会議事録(進学相談会日程)

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に行っている場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準5」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的に基づき大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。	(1)	◇新規項目 各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を適切に明示していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 2019年度に薬学研究科委員会において教員組織の編制方針を策定し、教員へ周知した。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
「薬学研究科教員組織の編制方針」				
2019年度第10回薬学研究科委員会議事録(教員組織の編制方針)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)	大学全体及び学部・研究科等ごとの専任教員数は適切ですか。	A
		(2)	学部・研究科等ごとの専任教員数を適切に維持するため、計画的に募集・採用・昇任等を実施していますか。	A
		(3)	教員組織の編制に関する方針に基づき、適切に教員組織を編制していますか。 ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師又は助教)の適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	A
		(4)	学士課程における教養教育の運営体制は適切ですか。	
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 薬学研究科の専任教員数は、大学院設置基準で定められた人数を満たしており、適切である。</p> <p>(2) 研究科の専任教員数の維持と教育の充実のため、計画的な募集・採用・昇任等を実施している。2019年度は2名の研究指導教員と1名の研究補助指導教員を採用した。</p> <p>(3) 専任教員数:30名 特別研究:24名(内訳:教授15・准教授6・講師3) 医療分子薬学特別演習:16名(内訳:教授8・准教授4・講師4) 医療機能薬学特別演習:14名(内訳:教授8・准教授4・講師2) 男性教員26名(内、外国籍教員1名)・女性教員4名 薬学研究科は30代:2名, 40代:12名, 50代:11名, 60代:5名で構成され、比較的バランスが取れている。 なお、薬学研究科の教員組織の編制に関する方針は2019年度に策定され、これに基づき今後の編制が行われる予定である。</p>				

(4)
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名
「薬学研究科シラバス」(2019年度大学院要項p176)
「カリキュラム内容」ウェブサイト【ウェブ】 http://www.phar.agu.ac.jp/graduate_school/class_curriculum/curriculum/
教員組織(担当者一覧)
2019年度第3回・第4回薬学研究科委員会議事録(審査報告)

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。	(1)	教員の職位(教授、准教授、講師、助教等)ごとの募集、採用、昇任等に関する基準及び手続を設定し、規程を整備していますか。	A
		(2)	規程に沿った教員の募集、採用、昇任等を実施していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 「愛知学院大学大学院薬学研究科教員資格審査内規」・「愛知学院大学大学院薬学研究科教員資格審査委員会規程」・「愛知学院大学大学院薬学研究科担当教員の資格審査に関する審査基準の指針」並びに「愛知学院大学大学院薬学研究科担当教員資格審査内規に関する覚書」が整備されている。これは完成年度(平成27年度)後の教員組織の充実のためであり、「教員資格審査内規」には研究指導教員と研究指導補助教員について明文化されている。人材の確保や昇任については、その都度設置される資格審査委員会が研究科教員の採用および昇任に関する審査基準の指針をもとに集中的に審議するが、最終的に研究科委員会に諮ることで、審査内容の公平性・透明性を確保する体制となっている。				
(2) 上記規程に従い、2019年度は2名の研究指導教員と1名の研究補助指導教員を新たに採用した。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
愛知学院大学大学院薬学研究科教員資格審査内規				
愛知学院大学大学院薬学研究科教員資格審査委員会規程				
愛知学院大学大学院薬学研究科担当教員の資格審査に関する審査基準の指針				
愛知学院大学大学院薬学研究科担当教員資格審査内規に関する覚書				
2019年度第3,4回薬学研究科委員会議事録(審査報告)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的に実施していますか。	A
		(2)	教員の教育活動、研究活動、社会活動等の評価を行い、結果を活用していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 教員および各研究室の教育・研究活動は、毎年刊行している「愛知学院大学薬学会誌」および各研究室のホームページ上で公表し、外部評価に十分に応じる形で対応している。研究活動の活性化のために学内外の講師による薬学セミナー(講演会)が年4～6回、及び薬学会東海支部特別講演会が年2～3回開催されている。また、薬学部FD委員会と薬学研究科FD委員会の共催で、年1～2回のワークショップ・講演会を開催している。2019年度は1回のワークショップ(2020年2月)と研究倫理に関する講演会(2019年11月)を実施した。</p> <p>(2) 教員活動業績評価について2019年度は試験運用を行い、2020年度から実施予定である。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
「愛知学院大学薬学会誌」ウェブサイト【ウェブ】				
「薬学部研究室ホームページ」ウェブサイト【ウェブ】 http://www.phar.agu.ac.jp/teacher/				
「薬学セミナー」「東海支部特別講演会」ウェブサイト【ウェブ】 http://www.phar.agu.ac.jp/news/				
FDワークショップ資料 (2020年2月14日実施)				
FD講演:研究倫理(2019年11月22日実施)				
2019年度第3、5、9回薬学研究科委員会議事録 (教員評価)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を実施していますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	B
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 教員組織の評価の一環として2019年度に教員の活動業績評価の指針を策定するとともに試験運用をはじめた。</p> <p>(2) 教員の活動業績評価による点検と評価結果に基づいた改善・向上に向けた取り組みには至っていない。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
「教員の活動業績評価の指針」				
2019年度第3回・第5回・第9回薬学研究科委員会議事録 (教員評価)				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特になし場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特になし場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
6-⑤-2	教員の活動業績評価による点検と評価結果に基づいた改善

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
6-⑤-2	2020年度より薬学研究科教員評価委員会で作成される教員活動業績評価報告書を基に教員は教育・研究活動の活性化と高度化に役立たせる予定である。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	
2019年度第3回・第5回・第9回薬学研究科委員会議事録 (教員評価)	

5. 「基準6」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)	学外組織との適切な連携体制を構築していますか。地域交流、国際交流事業への参加に取り組んでいますか。	A
		(2)	社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	B
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 平成27年度より愛知学院大学大学院薬学研究科と名古屋鉄道健康保険組合名鉄病院との間で、教育研究実施に関する連携協定が締結され交流が行なわれている。また、大学院生の国際学会での発表を国際交流としている。薬学部国際交流委員会と連携して東国大学校薬学大学、韓国漢陽大学校薬学大学ならびに米国ウエスタン大学薬学部との協定に基づいた国際交流事業を用意しているが現状希望・参加した学生はいない。</p> <p>(2) 薬学研究科では各研究室単位での社会連携・社会貢献を行なっているため、研究科としての支援は行なっていない。各研究室の社会連携・社会貢献活動は、各研究室のホームページ上で公表している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
平成27年度第5回薬学研究科委員会議事録 (連携協定)				
「国際交流」ウェブサイト【ウェブ】 http://www.phar.agu.ac.jp/current_students/international/				
「薬学部研究室ホームページ」ウェブサイト【ウェブ】 http://www.phar.agu.ac.jp/teacher/				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を実施していますか。	C
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	C
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 社会連携・社会貢献の適切性について定期的な根拠資料に基づく点検・評価は行なっていない。</p> <p>(2) 点検評価が行なわれていないので改善に向けた取り組みは行なわれていない。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
9-③-(1, 2)	社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価と改善に向けた取り組み。

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既にも実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
なし	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準9」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	B